



## 【学校の教育目標】

- ◎ 夢 (ゆめ) にむかって ともに学びあう学校
  - ・すすんで勉強する子
  - ・自分からあいさつのできる子
  - ・仲よくたすけあう子
  - ・じょうぶな子

## ユネスコスクール (2)

(2012年7月承認)

～ 親切の輪 ～

校長 白石 徳一郎

猛暑の候、熱中症が心配な季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、いつも本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。特に防犯ボランティアの皆様には、暑い日も毎日、子どもたちの登下校を見守りいただきまして、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、昭和26年7月2日、日本は国連教育科学文化機構(ユネスコ)に加盟しました。7月2日がユネスコ加盟記念日となっています。ユネスコは「教育・科学・文化を通して国際協力を促進し、世界の平和と福祉に貢献する」ことを目的として、広報活動・情報交換・児童教育などの文化普及活動を行っています。本校はユネスコスクールですので、今回は福祉教育についてご紹介します。

6月29日(水)に5年生の総合的な学習の時間「だれもが暮らしやすい生活について考えよう」～自分にできること～<福祉>で、盲導犬と生活をされている井出 茂樹様にご来校いただき、お話をうかがいました。視覚障害者には、「目が見えない人」と「目が見えづらい人」がいて、全く目が見えない人は視覚障害者全体の約1割で、見えづらい人の方が多いたとのことでした。見えづらい人がどのように見えているかについても、わかりやすく教えていただきました。

白杖についても種類や使い方を紹介していただきました。唯一、この杖で見つけられない障害物はおへそより高い障害物で、木の枝などにぶつかりそうな時には「危ない!」と声をかけてほしいことを教えていただきました。また、困っている人を見かけたら、勇気をもって「どうしましたか?」「お手伝いできることはありますか?」などと声をかけてほしいこと、視覚障害者のガイドの仕方は、肘か肩につかまってもらい、声をかけながら歩くことなどを教えていただきました。「声をかけながら」がとても大切で、「歩きます。」などの一言をかけることの大切さを実演を通してわかりやすく教えていただきました。目的地まで案内していただいた時も、「小学校に着きました。」で終わらずに、「校門の前ですけど、ここでいいですか?玄関まで行きましょうか?」と言っただけだと嬉しいことなど、気が付かないことがたくさんあることを知りました。お礼を言いたくても、黙って立ち去る人がいるので、立ち去る時にも声を出してほしいということでした。聞こえる声ではっきりと伝えることや、「段差があります。」など、声に出してお伝えすることが大切であり、ちょっとしたことが思いやりや親切なんだということに気付きました。

盲導犬は外でハーネスをつけている時は仕事なので触ってはいけないようですが、家の中に入るとハーネスを外して自由に過ごしているそうです。盲導犬ロンドは仕事でしたが、お別れの時に、特別にハーネスを外して、一人ずつ触らせてもらいました。やさしい目をしていて、とてもかわいかったです。

井出様との出会い、盲導犬ロンドとの出会いがいつまでも子どもたちの心に残って、これからの生活の中で役立ててもらえたらと思います。

登校時から暑い毎日ですが、先日、交番の近くの交差点でいつも通っているあるお母様が、梅の塩飴と凍らせた一口ゼリーを小さな袋に入れて防犯ボランティアの方々に渡されたそうです。防犯ボランティアの方から私も1袋いただきました。塩飴3つと凍った一口ゼリーが2つ入っていました。このような思いやりのある方がいらっしゃることに感心するとともに、親切についてできることはたくさんあると思いました。私も炎天下で作業している用務員さんに、いただいた親切をおすそ分けしました。

夏休みの自由課題に「小さな親切」作文コンクールがあります。ぜひ、親切について作文を書いていただき、一人ひとりの子どもたちに親切の輪が広がることを願っています。保護者の皆様、地域の皆様、一学期間、大変お世話になり、ありがとうございました。よい夏休みをお過ごしください。

